



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社

コード番号 6055 URL <http://www.j-material.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 久男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 森 正勝

TEL 059-399-3821

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,537	52.4	1,859	47.7	1,917	51.3	1,236	53.1
27年3月期第2四半期	5,600	33.5	1,258	58.4	1,267	49.3	807	51.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,327百万円 (68.1%) 27年3月期第2四半期 789百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	70.59	—
27年3月期第2四半期	48.00	—

当社は、平成26年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	17,631	13,034	72.3
27年3月期	15,490	12,145	77.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 12,755百万円 27年3月期 11,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	43.3	3,600	35.1	3,600	31.2	2,250	29.8	128.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	17,524,920 株	27年3月期	17,524,920 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	5,976 株	27年3月期	5,976 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	17,518,944 株	27年3月期2Q	16,829,160 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成26年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用状況の改善などを背景として、緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済減速の影響により依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する業界では、半導体市場におけるスマートフォンや車載向けの需要は堅調に推移し、中小型ディスプレイ市場でも、中国のスマートフォン向けが競争激化によって販売価格の下落がみられるものの、高精細パネルや車載向けの需要が継続していることから、設備投資は引き続き順調に実施され、生産活動も順調に推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業は、主に半導体工場での設備投資が継続して実施されていることから、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)につきましても、半導体工場および中小型ディスプレイ工場における生産活動が順調に推移していることから、主にオンサイト事業、特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンスが好調に推移したことに加えて、半導体製造装置メンテナンス用部品の製造販売が寄与しました。

一方、グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け販売が順調に推移し、放送業界向け3Dキャラクタージェネレーターの販売も寄与しましたが、事業拡大のための体制強化や将来的な販売拡大を図るための設備投資を実施したことにより費用は増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,537百万円(前年同四半期比52.4%増)、営業利益は1,859百万円(前年同四半期比47.7%増)、経常利益は1,917百万円(前年同四半期比51.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,236百万円(前年同四半期比53.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①エレクトロニクス関連事業

当セグメントにおいては、売上高は8,090百万円(前年同四半期比54.0%増)、セグメント利益は2,076百万円(前年同四半期比43.7%増)となりました。

②グラフィックスソリューション事業

当セグメントにおいては、売上高は439百万円(前年同四半期比26.3%増)、セグメント利益は50百万円(前年同四半期比9.7%減)となりました。

③その他

当セグメントにおいては、売上高は7百万円、セグメント利益は0.9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,141百万円増加し、17,631百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、9,992百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,661百万円増加、原材料及び貯蔵品が156百万円増加したものの、現金及び預金が2,147百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,480百万円増加し、7,638百万円となりました。これは主に投資その他の資産その他(差入保証金他)が1,290百万円増加、リース債権及びリース投資資産が694百万円増加したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,239百万円増加し、4,416百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が102百万円減少したものの、短期借入金が1,369百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、181百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債が20百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ889百万円増加し、13,034百万円となりました。これは主に配当金の支払により437百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,236百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月16日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,480,099	1,332,450
受取手形及び売掛金	4,249,944	5,911,221
商品及び製品	678,546	571,604
仕掛品	882,204	831,875
原材料及び貯蔵品	361,198	517,518
繰延税金資産	150,978	168,888
その他	534,491	661,000
貸倒引当金	△5,658	△1,855
流動資産合計	10,331,805	9,992,702
固定資産		
有形固定資産	1,696,533	2,219,267
無形固定資産		
のれん	717,060	687,725
その他	46,781	48,469
無形固定資産合計	763,842	736,195
投資その他の資産		
リース債権及びリース投資資産	1,166,464	1,861,276
長期預金	1,050,000	1,050,000
その他	481,870	1,772,191
投資その他の資産合計	2,698,334	4,683,468
固定資産合計	5,158,710	7,638,930
資産合計	15,490,516	17,631,633
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,667,960	1,565,514
短期借入金	129,348	1,499,060
1年内返済予定の長期借入金	15,103	3,960
未払金	309,443	214,915
未払費用	158,415	160,005
未払法人税等	601,000	665,150
繰延税金負債	5,905	1,416
賞与引当金	180,405	206,239
その他	108,561	99,781
流動負債合計	3,176,144	4,416,043
固定負債		
長期借入金	2,145	760
退職給付に係る負債	104,866	125,126
繰延税金負債	33,345	22,802
資産除去債務	24,494	24,883
その他	4,342	7,668
固定負債合計	169,194	181,242
負債合計	3,345,339	4,597,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,815	1,317,815
資本剰余金	1,990,916	1,990,916
利益剰余金	8,490,554	9,289,303
自己株式	△2,219	△2,219
株主資本合計	11,797,067	12,595,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,728	59,743
繰延ヘッジ損益	3,277	△1,205
為替換算調整勘定	62,718	100,820
その他の包括利益累計額合計	132,724	159,359
非支配株主持分	215,385	279,172
純資産合計	12,145,177	13,034,347
負債純資産合計	15,490,516	17,631,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,600,143	8,537,057
売上原価	3,735,137	5,756,180
売上総利益	1,865,005	2,780,876
販売費及び一般管理費	606,372	921,280
営業利益	1,258,632	1,859,596
営業外収益		
受取利息	6,346	6,061
受取配当金	2,042	2,047
受取賃貸料	7,152	7,110
為替差益	—	26,544
その他	5,195	21,019
営業外収益合計	20,735	62,782
営業外費用		
支払利息	—	2,394
デリバティブ評価損	1,487	—
不動産賃貸費用	1,524	1,413
為替差損	8,695	—
その他	597	1,442
営業外費用合計	12,304	5,251
経常利益	1,267,064	1,917,127
特別利益		
固定資産売却益	125	—
投資有価証券売却益	—	4,933
特別利益合計	125	4,933
特別損失		
固定資産除売却損	7	218
特別損失合計	7	218
税金等調整前四半期純利益	1,267,181	1,921,843
法人税、住民税及び事業税	489,811	656,028
法人税等調整額	△30,374	△29,494
法人税等合計	459,437	626,534
四半期純利益	807,744	1,295,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	58,586
親会社株主に帰属する四半期純利益	807,744	1,236,721

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	807,744	1,295,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,607	△6,984
繰延ヘッジ損益	1,118	△4,483
為替換算調整勘定	△15,701	43,302
その他の包括利益合計	△18,190	31,834
四半期包括利益	789,554	1,327,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	789,554	1,263,356
非支配株主に係る四半期包括利益	—	63,786

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,267,181	1,921,843
減価償却費	69,775	102,436
のれん償却額	—	65,859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	99	△3,669
賞与引当金の増減額(△は減少)	61,318	25,834
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,013	20,259
受取利息及び受取配当金	△8,388	△8,108
支払利息	—	2,394
為替差損益(△は益)	△791	△7
デリバティブ評価損益(△は益)	1,487	—
固定資産除売却損益(△は益)	△117	218
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△4,933
売上債権の増減額(△は増加)	△564,694	△1,623,975
たな卸資産の増減額(△は増加)	436,221	6,516
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△496,744	△808,576
差入保証金の増減額(△は増加)	—	△1,289,655
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,165	△111,778
その他	131,089	△165,890
小計	760,285	△1,871,232
利息及び配当金の受取額	8,310	9,648
利息の支払額	—	△2,394
法人税等の支払額	△557,644	△597,692
法人税等の還付額	4,243	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	215,194	△2,461,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	—
定期預金の払戻による収入	1,750,000	1,400,000
有形固定資産の取得による支出	△191,156	△573,996
無形固定資産の取得による支出	△10,557	△13,821
子会社株式の取得による支出	—	△25,767
その他	2,169	△3,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	250,456	782,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,368,142
長期借入金の返済による支出	—	△12,600
配当金の支払額	△314,144	△437,973
その他	△189	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,333	917,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,953	13,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148,363	△747,649
現金及び現金同等物の期首残高	1,033,345	1,880,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,181,709	1,132,450

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,252,272	347,870	5,600,143	—	5,600,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,252,272	347,870	5,600,143	—	5,600,143
セグメント利益	1,445,176	56,348	1,501,525	—	1,501,525

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,501,525
全社費用(注)	△244,581
その他	1,689
四半期連結損益計算書の営業利益	1,258,632

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,090,765	439,263	8,530,028	7,029	8,537,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,090,765	439,263	8,530,028	7,029	8,537,057
セグメント利益	2,076,807	50,865	2,127,672	934	2,128,606

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,127,672
「その他」の区分の利益	934
全社費用(注)	△300,831
その他	31,820
四半期連結損益計算書の営業利益	1,859,596

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。